

梅雨前線豪雨

災害発生日・平成17年6月28日／7月1日～6日／7月8日～10日

主な被災地・関東・北陸・中部・中国・四国・九州地方

北陸から中国、四国、九州へ 梅雨前線豪雨が全国に残したツメ跡

梅雨前線の影響で6月末から7月始めにかけ、北陸地方および西日本を中心に激しい豪雨に見舞われた。地震災害で地盤が緩んでいる地域などは二次災害の恐怖にさらされた。6月28日：人的被害は死者1人、負傷者7人。住家被害は一部破損4棟。7月1日～6日：人的被害は死者5人、負傷者3人。住家被害は全壊2棟、半壊2棟、一部破損14棟。7月8日～10日：人的被害は死者6人、負傷者3人。住家被害は全壊5棟、半壊3棟、一部破損6棟。

新潟県で鵜川などが氾濫 災害派遣で自衛隊が出動

6月27日から29日にかけて、北陸地方を中心に梅雨前線の影響による豪雨が発生した。

梅雨前線の影響で新潟県は28日、前日の降り始めからの雨量が三条市堂ノ窪で363mm、上越市川谷で343mmを超えるなど、県内各地で300mmを超える豪雨となった。柏崎市の鵜川流域で住宅などが浸水したため、県知事が陸上自衛隊に柏崎市への災害派遣を要請、自衛隊員約70人が出動して住宅地で冠水被害により孤立していた約200人の住民を救出

した。

鵜川と鯖石川が氾濫した柏崎市など、新潟県内で住宅約700棟が床上・床下浸水するなど、県内各地で洪水による被害が続出した。

また、被害が大きい柏崎市を含む7市町の住民約900人が学校などの公共施設に避難した。豪雨は北陸地方全域から岐阜、長野などにも影響を与え、各地で高速道路が通行止めになるなど交通機関に乱れが生じた。

西日本への恵みの雨が 死者を出す被害続出に

7月1日から6日にかけて、今度は中



▲鵜川流域では懸命の救助活動が行われた
(新潟県柏崎市城東地区)〔写真提供／新潟県土木部〕

国・四国地方が襲われた。朝鮮半島から西日本にかけて梅雨前線が停滞、香川県東かがわ市では1時間に30mmを超える雨量を計測。当面の間、夜間断水を中止する恵みの雨となったが、中国・四国地方で約3000棟の浸水被害が出た。渇水が続いていた四国地方にとって恵みの雨になるはずが一転、大きな被害をもたらす豪雨となった。

その後も梅雨前線は勢力を保ち、7月8日から10日にかけて静岡県、愛媛県、福岡県、長崎県、熊本県、大分県などで約500棟が床上・床下浸水、6人の人的被害をもたらした。

▼大分県日田市上津江町の土砂災害現場〔写真提供／毎日新聞社〕

